

NPO 法人

奈良21世紀フォーラム会報

2009 年夏号

平成21年度通常総会開く

活動実施方針決まる

【奈良県の歴史文化とそれを取り巻く自然環境の魅力を再発見し、県の活性化に結びつく提案活動を行い、平城遷都1300年記念事業の成功に向けて積極的に参加・協力を行う】

平成21年度の理事会・通常総会は、6月13日(土)東大寺二月堂 北参籠所で開催された。当日は晴天に恵まれ、61名の会員の方々が出席された。



総会では、平成20年度事業報告と決算を承認、平成21年度事業計画として「朝賀の儀」復元シナリオの作成、「光明皇后1250年遠忌法要奉納イベント」の開催、「万葉けまり」の復元、「書の文化」の伝承、「食文化」の伝承、「吉野川上流水源地の森を守る」活動、「神仏霊場会」奈良県ネットワーク支援など7項目を決定しました。また、役員改選が行われ、理事29名、監事2名が選任されました。

(新役員は裏面で紹介)



その後 森本理事長が「お水取りについて」記念講演され、お水取りの起源や目的、本尊の話などをわかりやすく解説されました。

講演の後、理事長のご案内で、平常は原則として入ることができない二月堂内陣に参拝、般若心経を唱和し、内陣のご説明を受けました。

特に、二月堂北参籠所から東大寺境内を見下ろす景色はすばらしく、外は真夏の太陽が照りつける熱い日にもかかわらず参籠所は涼風が通り心地よく、歴史文化とそれを取り巻く自然環境の魅力を再発見する活動計画を審議するにふさわしい会場でありました。



甦える「万葉けまり」ー日本サッカーの発祥の地は奈良だー

2009年の県民活動支援事業として、採択される。

我が国最古の都が営まれた奈良飛鳥の地で行われたとされる「打毬」をできる限り甦らせる「万葉けまり」を創造し、「日本伝統のサッカー」として新しい大和の観光行事とすることを提案しました。



4月18日(土)春日野荘で行われた審査会でプレゼンテーションを行い、その結果支援事業に採択されました。

当フォーラムは「万葉けまりを普及する会」を発足させて、世界遺産の社寺の祭事として定着するよう努め、「日本のサッカー発祥の地は奈良」の啓発と新たな観光資源に育てる施策を計画しています。

2010年の平城遷都1300年祭記念事業イベントでも披露する予定で、記念イベントを盛り立てていく計画であります。会員の皆様もぜひご協

力お願いいたします。

吉野川上流の水源地の森を守る活動

第6回奈良県「暮らし」と「環境」フェスティバルに参加して

このフェスティバルは4月4日～5日 奈良市登大路町の県文化会館で行われました。環境をテーマに企業や団体の取り組みを伝えるエコ体験やブース展示、恒例の「登大路市」では飲食や特産品の販売等さまざまな催しが行われました。

当フォーラムも源流の村支援活動として参加しました。



水道水と源流の水の飲み比べや源流の水で育む特産品のチャリティ販売を行い収益金は「森と水の源流館」に寄付しました。

食文化の伝承

第6回大和の伝統食文化を訪ねて～源流の集落・川上村高原にて～

好評につき、昨年に続き今年も川上村高原地区の伝統食を楽しむ会が地区区長を始め、集落の婦人の方々のご協力で実施しました。

新緑の季節にしては寒い日となった4月27日、森本理事長ご夫妻を始め当フォーラム会員25名と東映OB会員16名が近鉄吉野神宮駅に集合し、マイクロバスで吉野山金峯山寺に参拝、

田中宗務総長のご案内で境内と世界遺産登録5周年記念の特別展「金峯山寺経塚遺宝展」を見学しました。



その後、バスで吉野奥駆け道の一部を經由して川上村高原川の溪谷に到着、溪谷の景色と新緑の新鮮な空気を胸一杯に吸い、伝統の山間集落の食文化の数々に舌づつみを打ちながらの楽しい団欒のひと時を過ごしました。こんにやく、柚子味噌のおみやげをいただいて帰路につき、15時近鉄上市駅で解散いたしました。参加者は高原地区の皆さんに感謝しながら満足な一日を過ごすことができました。



料理のおしながき

1. 鹿肉のあぶり焼き
2. あまごの塩焼き
3. タラの芽、芹、ウド、筍など山菜のてんぷら
4. ふき、イタドリの煮物
5. こんにやくの料理
6. 目張りずし、チシャのおにぎり
7. おかいさん（茶がゆ）
8. 山菜ごはん
9. 高菜の漬物
10. 火打ち餅
11. 源流の森の水で沸かしたコーヒー



